



## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月9日  
上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社  
 コード番号 4574 URL <https://www.seirogan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 高  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部門担当 (氏名) 本間 豪 TEL 06-4391-1123  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	8,355	—	△1,578	—	△2,389	—	△1,947	—
2020年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 △1,851百万円 (—%) 2020年12月期第3四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	△44.79	—
2020年12月期第3四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2020年6月26日開催の第74回定時株主総会において、定款の一部変更を決議し、決算期を3月31日から12月31日に変更致しました。これに伴い、2020年12月期は決算期変更の経過期間により、2020年12月期第3四半期連結財務諸表を作成しておりません。このため、2021年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率及び2020年12月期第3四半期の連結経営成績（累計）については記載しておりません。

2. 2021年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	28,532	20,423	71.6
2020年12月期	31,757	22,781	71.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 20,423百万円 2020年12月期 22,777百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	7.00	—	18.00	25.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	—	△2,000	—	△3,400	—	△2,800	—	△64.24

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
2. 前連結会計年度は決算期変更の経過期間となり、通期については、当社並びに3月決算であった連結子会社は9ヵ月（2020年4月1日～2020年12月31日）、12月決算の連結子会社は12ヵ月（2020年1月1日～2020年12月31日）を連結対象期間とした変則決算となっております。このため、対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	44,136,900株	2020年12月期	44,001,900株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	555,734株	2020年12月期	685,695株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	43,485,701株	2020年12月期3Q	—株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ホームページに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、2020年6月26日開催の第74回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、2020年度より決算日を3月31日から12月31日に変更致しました。これにより、経過期間となる2020年12月期の第3四半期連結累計期間の連結財務諸表は作成していないため、対前年同期比につきましては記載しておりません。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス変異株の発生や感染拡大により、緊急事態宣言が継続的に発出され、社会経済活動が抑制傾向のまま推移致しました。一方で、ワクチン接種は段階的に進んでおり、2021年9月30日には一部条件付で緊急事態宣言が解除となる等、行動制限は緩和されましたが、再度の感染拡大も懸念されており、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような中、当社グループは衛生管理製品「クレベリン」の安定供給に努めるため、前期より生産能力向上やサプライチェーンの強化に注力し、また急激な需要増加の際に備え、手厚く商品の在庫を確保するとともに、人員体制や拠点の充実を図ってまいりました。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間においては、冬季（第1四半期頃）における季節性インフルエンザの流行レベルが例年に比べて極端に低く、また新型コロナウイルス関連の需要においても、店頭等市場在庫の消化は鈍く、感染管理事業の販売状況は昨年同時期の高い需要水準と比較すると、依然として低調に推移しております。

医薬品事業につきましても、消費者の外出自粛やインバウンド需要消失の状況において、前期からの市場環境に大きな変化はなく、国内外ともに前期と同程度の水準で低調に推移しました。

このような需要動向に伴い、保有する在庫は過剰な状態となりましたため当期の第2四半期連結累計期間において棚卸資産評価損を適用し、売上原価に損失を計上致しております。さらに、感染管理事業製品につきましては、当期の第2四半期連結会計期間中より生産を停止しており、引き続き一定の在庫量まで生産調整すべく在庫の圧縮に努めております。なお、本生産停止中に発生した労務費や減価償却費等の製造費用につきましては操業停止関連費用として、当第3四半期連結累計期間においては637百万円を営業外費用に計上しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,355百万円、営業損失は1,578百万円、経常損失は2,389百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,947百万円となりました。

セグメント別の経営成績につきましては以下の通りであります。

#### (医薬品事業)

医薬品事業につきましては、消費者の外出自粛やインバウンド需要消失の状況において、前期から変化は乏しく、例年夏場に向けて需要が増加する主力の「正露丸」「セイロガン糖衣A」も低調な状態が続き、当第3四半期連結累計期間における国内向けの売上高は2,257百万円となりました。また海外向けの売上高につきましては、765百万円となり、中国・香港での需要は、依然として新型コロナウイルス流行前の水準までには至っておらず、総じて低水準で推移しております。

その結果、売上高は3,022百万円、セグメント利益は1,009百万円となりました。

#### (感染管理事業)

感染管理事業につきましては、新型コロナウイルス感染症は完全には収束しない状況にありますものの、日常的な感染対策の習慣化やワクチン接種による効果への期待、感染者数の減少等から、昨年のような需要は当期においては発生しておらず、当第3四半期連結会計期間（7～9月）においても、除菌関連製品の需要動向に大きな変化はありませんでした。なお、例年第3四半期の時期は季節性インフルエンザのシーズンを控え、ドラッグストア等の店頭での当社製品の陳列数が拡大する時期であります。概ね現在の計画通りに出荷は進んでおります。

その結果、売上高は5,327百万円、セグメント損失は1,494百万円となりました。

#### (その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は5百万円、セグメント損失は21百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は28,532百万円（前連結会計年度末比3,225百万円減）となりました。また負債合計は8,108百万円（同867百万円減）、純資産合計は20,423百万円（同2,357百万円減）となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は、債権の回収に伴う受取手形及び売掛金の減少による流動資産3,788百万円の減少や支払手形及び買掛金の減少、未払法人税等の減少等による流動負債4,837百万円の減少、当面の運転資金を目的とした長期借入金の発生などにより固定負債3,969百万円の増加、また、配当金の支払いや親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による純資産2,357百万円の減少等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の通期連結業績予想につきましては、2021年8月6日に公表致しました予想値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,944	5,960
受取手形及び売掛金	7,918	3,806
商品及び製品	5,409	4,395
仕掛品	339	573
原材料及び貯蔵品	659	799
その他	549	499
流動資産合計	19,822	16,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,359	3,135
機械装置及び運搬具(純額)	1,676	1,474
土地	1,820	1,820
建設仮勘定	2,004	2,625
その他(純額)	586	354
有形固定資産合計	9,446	9,410
無形固定資産	319	343
投資その他の資産		
投資有価証券	1,231	1,213
その他	938	1,530
投資その他の資産合計	2,169	2,744
固定資産合計	11,935	12,498
資産合計	31,757	28,532
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,928	336
1年内返済予定の長期借入金	—	889
未払金	2,067	866
未払法人税等	1,113	21
返品調整引当金	120	77
賞与引当金	455	131
役員賞与引当金	57	—
その他	744	328
流動負債合計	7,487	2,650
固定負債		
長期借入金	—	3,950
長期未払金	549	549
退職給付に係る負債	742	783
その他	197	175
固定負債合計	1,488	5,458
負債合計	8,976	8,108
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,148	1,201
資本剰余金	1,516	1,648
利益剰余金	20,509	17,781
自己株式	△480	△388
株主資本合計	22,693	20,243
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	83	179
その他の包括利益累計額合計	83	179
新株予約権	4	0
純資産合計	22,781	20,423
負債純資産合計	31,757	28,532

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	8,355
売上原価	4,571
売上総利益	3,783
返品調整引当金戻入額	120
返品調整引当金繰入額	77
差引売上総利益	3,826
販売費及び一般管理費	5,405
営業損失(△)	△1,578
営業外収益	
受取利息	2
為替差益	35
受取賃貸料	1
その他	14
営業外収益合計	54
営業外費用	
支払利息	3
賃貸費用	1
未稼働設備関連費用	217
操業停止関連費用	637
その他	4
営業外費用合計	865
経常損失(△)	△2,389
特別利益	
投資有価証券売却益	60
特別利益合計	60
特別損失	
減損損失	225
特別損失合計	225
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,553
法人税、住民税及び事業税	20
法人税等調整額	△626
法人税等合計	△605
四半期純損失(△)	△1,947
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,947

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,947
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	96
その他の包括利益合計	96
四半期包括利益	△1,851
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,851

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,022	5,327	5	8,355	—	8,355
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,022	5,327	5	8,355	—	8,355
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	1,009	△1,494	△21	△506	△1,071	△1,578

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「感染管理事業」セグメントにおいて、将来の使用が見込めなくなった遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において225百万円であります。